

I 調査結果の概要

1 個人経営体（漁船漁業：全国1経営体当たり平均）

主として漁船漁業を営む個人経営体の漁労収入は968万円、漁労支出は674万円、漁労所得は294万円であった。

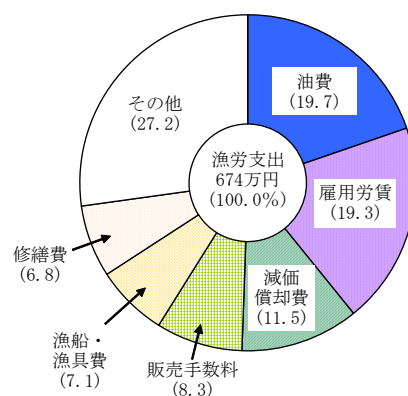
また、漁労所得に漁労外事業所得を加えた事業所得は304万円であった。

漁労支出の構成割合をみると、油費が19.7%と最も高く、次いで雇用労賃が19.3%、減価償却費が11.5%となっている。

表1 個人経営体（漁船漁業）の経営収支
（全国1経営体当たり平均）

区 分	金 額	構成割合
	万円	%
漁労所得	294	-
漁労収入	968	-
漁労支出	674	100.0
うち、油費	133	19.7
雇用労賃	130	19.3
減価償却費	78	11.5
漁労外事業所得	10	-
事業所得	304	-

図1 漁労支出の構成割合



注： 集計数は313経営体である。

2 会社経営体（漁船漁業：全国1経営体当たり平均）

主として漁船漁業を営む会社経営体の漁労売上高は3億868万円、漁労支出（漁労売上原価と漁労販売費及び一般管理費の合計）は3億1,236万円、漁労利益はマイナス368万円となった。

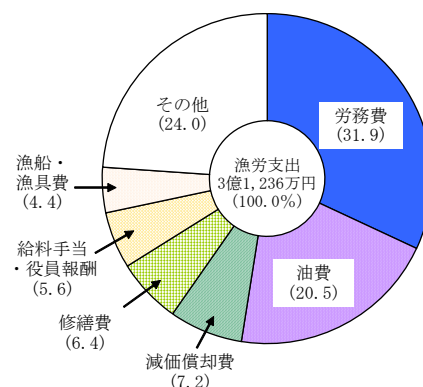
また、漁労利益に漁労外利益を加えた営業利益は112万円となった。

漁労支出の構成割合をみると、労務費が31.9%と最も高く、次いで油費が20.5%、減価償却費が7.2%となっている。

表2 会社経営体（漁船漁業）の経営収支
（全国1経営体当たり平均）

区 分	金 額	構成割合
	万円	%
漁労利益	△ 368	-
漁労売上高	30 868	-
漁労支出	31 236	100.0
うち、労務費	9 949	31.9
油費	6 401	20.5
減価償却費	2 243	7.2
漁労外利益	480	-
営業利益	112	-
経常利益	887	-

図2 漁労支出の構成割合



注：1 集計数は142経営体である。

2 漁労支出とは、「漁労売上原価」と「漁労販売費及び一般管理費」の合計値である。

3 漁労支出のうち減価償却費は、「漁労売上原価」中の減価償却費と「漁労販売費及び一般管理費」中の減価償却費の合計値である。